

(受賞者概要)

## 令和7年度 精神保健福祉事業功労者厚生労働大臣表彰

【個人:1名 団体:1団体】

属性	氏名・所属等	功績の概要
個人	佐賀県精神保健福祉 連合会理事 鹿島藤津地区精神障害者家 族会「鹿陽会」会長(R7.11 ~副会長) 森田 由佐子	家族会入会以来精力的に活動され、平成24年に「鹿陽会」の会長就任後も休むことなく家族会例会を続けられ、理事会にも欠かさず参加されるなど、家族会活動の原点である「支えあう」「学びあう」「働きかける」を体现した存在である。また、当事者に活躍してほしい一心で、鹿島作業所「ひまわり」の設立や、当事者が音楽やダンスを披露する「ひだまりコンサート」の実行委員を10年以上務められるなど、家族支援に留まらない幅広な活動をとおして、多くの当事者や家族の支えになられた。
団体	社会福祉法人 佐賀いのちの電話	平成10年に開局以来、「24時間眠らぬダイヤル」として、毎日電話を受信し、悩みを抱える方に傾聴し寄り添わされてきた。令和6年度の受信件数は17,346件であり、養成研修を終了された131名(R7.4月時点)のボランティア相談員の熱心な活動に支えられている。加えて、自死遺族のつどいや研修会の開催など自死遺族支援にも積極的に取り組まれ、本県の自殺予防対策に尽くされた功績は多大である。

## 令和7年度 精神保健福祉事業功労者知事感謝状

【個人:2名 団体:1団体】

属性	氏名・所属等	功績の概要
個人	医療法人 光風会 光風会病院院长 福岡 裕行	長年にわたり、医師として精神科医療に従事し、入院患者の地域移行や外来患者の生活の質の向上のために尽力され、患者に寄り添った精神科医療を提供されている。県の嘱託医として「こころの健康相談」にも従事し、県民が地域で安心して生活するための支援を行っている。また、佐賀県精神医療審査会委員、病状実地審査委員として精神障害者の人権に配慮した適正医療の確保に尽力された。
個人	佐賀県精神保健 福祉連合会会长 松田 孝	家族会活動を精力的に行われ、会員はもとより、会員以外の同じ立場で悩んでいる家族に対しても寄り添った支援を継続している。令和元年5月に会長就任後は、自ら、県や市町などの行政機関に働きかけ、民生委員・児童委員や自治会長等を対象に精神障害に関する研修会や講座を実施し、精神障害のある方の理解促進のための啓発活動に尽力されている。また、当事者家族団体として県の関係会議等に委員として出席され、家族の生の声を伝えている。
団体	特定非営利活動法人総合相 談支援センター キヤッチ	開設以来、精神障害当事者が地域で自分らしく生活できるよう、24時間365日体制で 本人、家族、支援者等の相談に対応し、福祉サービスの利用や社会資源の活用、専門機関等の情報提供を行っている。鳥栖・三養基地域自立支援協議会の運営事務局として、必要事項の協議・研修・事例検討会など質の高い会議を実施し、相談体制の重層化や人材育成にも尽力いただいている。